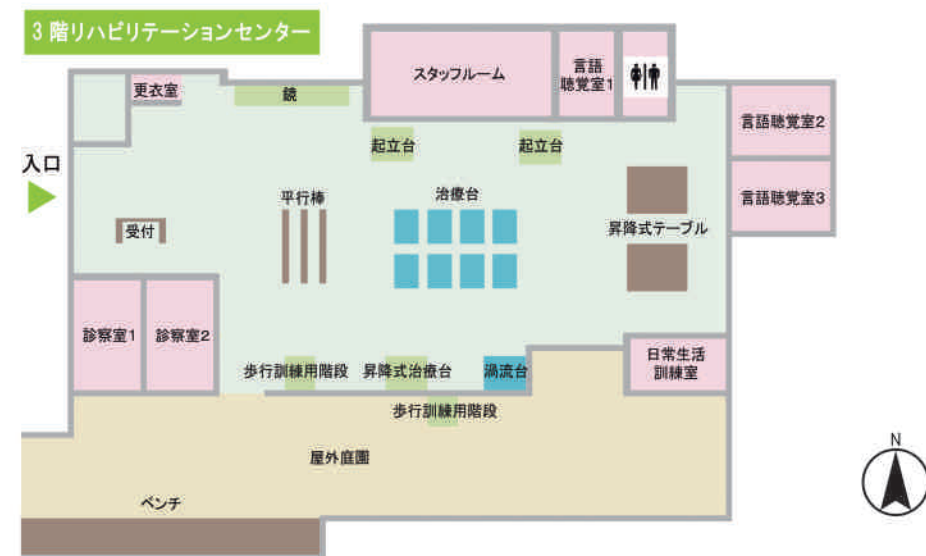


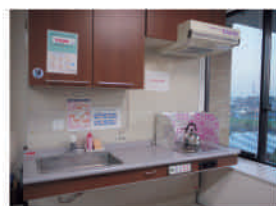
One for All All for One



▶ 筋力や持久力向上のため使用しています



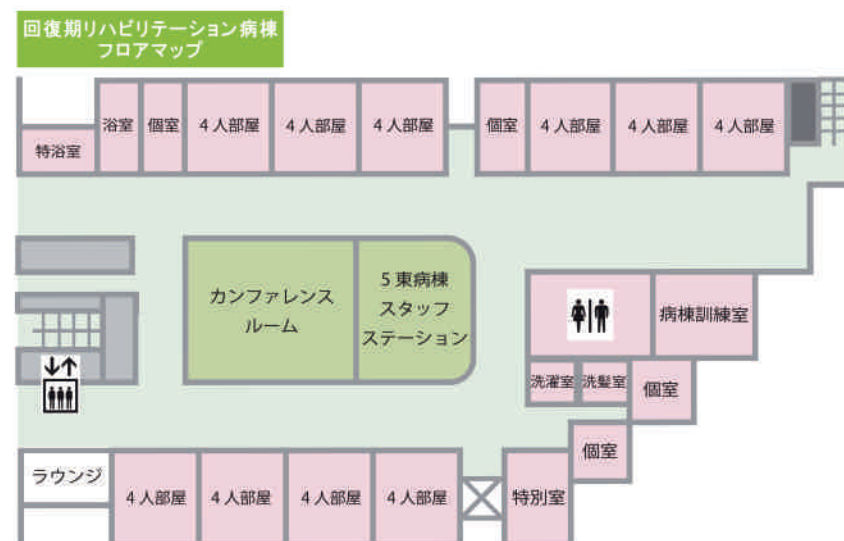
▶ 屋外庭園からは伊勢原市を一望でき、季節感を感じられます



▶ 日常生活に近い環境で料理を作れる練習を行っています



▶ 集中して取り組めるよう個別の訓練室を設けています



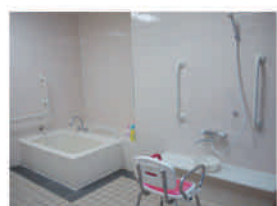
▶ 浴槽などの生活関連物品があります。自宅に近い環境でリハビリを行います



▶ 特別室1室、個室4室、4人部屋病室10室の計45床あります



▶ 何か病棟生活や退院後の生活等で不安な点があれば気軽に声を掛けください



▶ 自身で洗体動作が行えない人でも入浴できるようにスタッフがお手伝いします

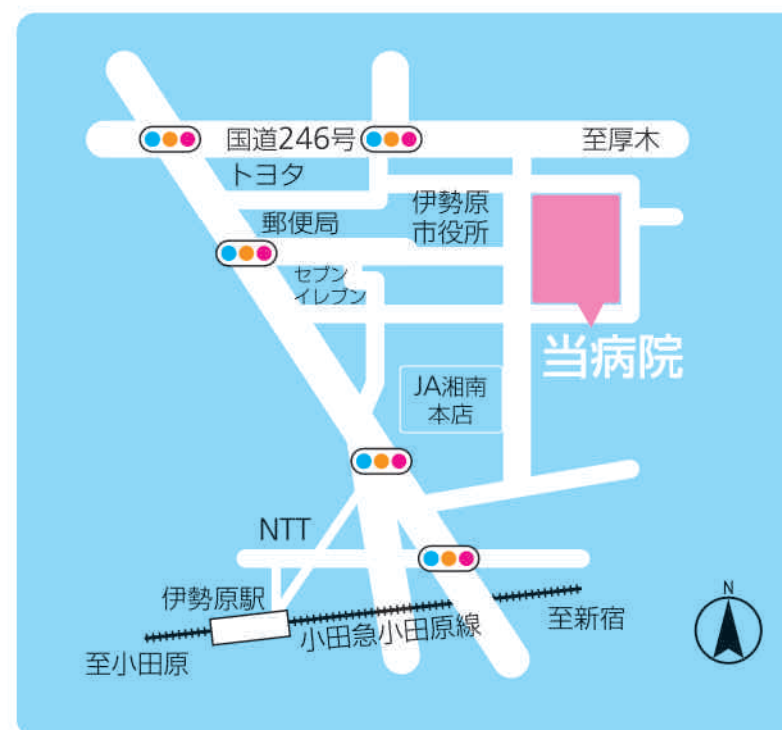
information

電車でお越しの方

小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩15分
※伊勢原駅北口より無料シャトルバス運行

路線バスでお越しの方

伊勢原駅南口4番線から「東海大学病院行き」に乗車し、
「行政センター前」下車、徒歩3分
伊勢原駅北口2番線から「愛甲石田駅行き」に乗車し、
「伊勢原市役所北口」下車、徒歩3分



神奈川県厚生農業協同組合連合会
伊勢原協同病院

〒259-1187
神奈川県伊勢原市田中345
tel. 0463 (94) 2111
fax. 0463 (96) 1759

〈JA神奈川県厚生連 伊勢原協同病院〉
<http://www.iseharahp.com>
当院の詳細はホームページをご覧ください。
伊勢原協同病院 回復期病棟 検索



回復期

リハビリテーション



神奈川県厚生農業協同組合連合会
伊勢原協同病院

Personal Health Care

The good Life:
good quality of life

私たちが目指すリハビリテーションとは、再び自分らしく生きること。
つまり、すべての活動がリハビリテーションとなります。
各種専門スタッフが協力し、「その人らしく生きるために行われる、
すべての活動」をサポートしています。

回復期リハビリテーション病棟の特徴

365 日の リハビリテーション

症状が安定し最も回復が見込まれる時期に集中的にリハビリテーションを行う病棟が「回復期リハビリテーション病棟」です。当院では入院当日より個別のリハビリに加え、看護師との病棟訓練など充実したリハビリテーションを提供しています。

個性のある リハビリテーション

患者さんやご家族の希望に寄り添い、その人らしい生活が再び送れるように支援することを大切にしています。患者さんの目標を共有し、一人ひとりに合わせたリハビリテーションを計画し、実践しています。

自宅訪問 ～退院に向けて～

回復期リハビリテーション病棟では、在宅復帰を目指す患者さん・ご家族に対して、退院前訪問指導を実施しています。生活環境の把握、住宅改修の提案、自宅環境に合わせた動作指導を行い、ご自宅でも安心して生活できるように支援しています。

在宅支援 ～退院後も安心～

安心した自宅での生活・社会復帰を目指し「介護老人保健施設 ほほえみの丘」などの関連施設とも積極的に連携しています。

One for All All for One

一人ひとりのライフ
ステージに応じ、
一日も早い機能回復
をサポート

入院生活 一日の流れ

当院回復期リハビリテーション病棟での入院生活の一例をご紹介します

起床 6:00 ▶ 朝食 8:00 ▶ ラジオ体操 8:40 ▶ リハビリ 9:00 ▶ 入浴 10:00 ▶ 昼食 12:00 ▶ リハビリ 13:00 ▶ 離床活動 14:00 ▶ 夕食 18:00 ▶ 就寝 22:00



装具を使った訓練

患者さんの状態を評価し、必要に応じて杖や装具などの歩行補助具を選定しながら、歩行訓練や動作訓練を行います。



電気刺激を使った手の訓練

手を動かすに辛い患者さんには、IVES(随意運動助成型電気刺激装置)を使用します。IVESは脳からの運動指令を感知し、手に電気刺激を与えることで運動を補助するリハビリ器具です。



日常的な動作を訓練

身の回りの動作だけでなく、掃除や調理などの家事動作練習も行っています。3階の日常生活訓練室にキッチンがあり、実際に調理が行えるようになっています。



始めよう、セルフケア・生活習慣改善を

当院はリハビリスタッフが主体となり、毎朝ラジオ体操を行っています。ラジオ体操を行うことで一日の生活へのモチベーションに繋げていきます。



病棟レクリエーション

病棟活動としてカレンダー作りや集団体操を行っています。普段関わりの少ない患者さん同士での会話で交流が広がる憩いの時間となっています。

入院から退院までの流れ

①入院(当日)

医師の診察後、治療、リハビリスタッフによる評価を行い、状態に合ったリハビリ計画を作成します。また看護師によるケアを開始します。

②リハビリテーション開始(365日体制)

③カンファレンス

多職種でカンファレンスを行い、患者さん個人に合ったリハビリ計画を作成し、同じ目標に向けて情報共有を行いながら、スムーズな退院・社会復帰に向けてリハビリテーションを行います。

④病状説明(インフォームドコンセント)

主治医から患者さんの現在の状況、今後の見通しなどを説明し、今後の方針について確認します。

⑤退院準備

必要に応じて公共交通機関の利用・買い物などを想定した外出訓練や住宅改修・介護サービスの調整のための退院前訪問指導、介助指導などを行います。

⑥退院

※入院までの流れについてはホームページをご参照ください